



## 文化協会文化祭が開催されます

台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響で開催が見送られていた、南房総市文化協会和田支部主催の文化祭が今年は4年ぶりに開催されます。

文化協会和田支部長の森さんは、「受付時の検温、手指消毒、マスクの着用、来場者名簿の作成など、新型コロナウイルス感染防止対策を最優先とし、その上で、皆様にもルールを守って楽しんでいただきたい」とおっしゃっていました。

日時 令和4年10月16日(日) 9:00~15:00

場所 和田コミュニティセンター

展示部門(1F・2F)

- ◎嶺南幼稚園・小学校・中学校(和田地区者)の作品
- ◎めぐみ会・和田書道サークルの書道作品
- ◎匠会の木工・竹細工品
- ◎掛け軸教室の掛け軸
- ◎南房総刀剣文化会の刀剣
- ◎ふるさと学舎利用者の作品

発表部門(3F)

- ◎舞踊・ダンス・太鼓・カラオケなど



平成30年に開催された文化祭の様子



(問合せ先) 文化協会和田支部長 森 茂 090-3088-1490

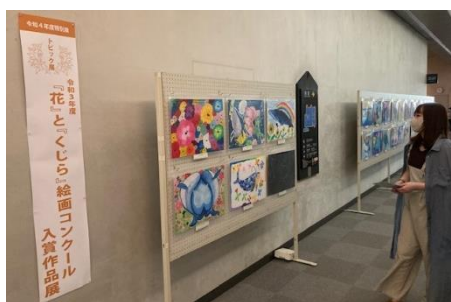


## 千葉県立中央博物館 特別展『鯨』 絵画入賞作品など展示

千葉県立中央博物館で開催中の特別展『鯨』で、和田コミュニティセンター併設、鯨資料館の資料や令和3年度「花」と「くじら」絵画コンクールの入賞作品、安房拓心高校生が開発した鯨料理のレシピなど、鯨に関係する物が展示されています。また8月6日(土)には同博物館が主催したイベント「捕鯨の町ウォッチング」として和田浦の町を歩いて巡る観察会が行われました。安房地域外から参加した17名の方は同館動物研究員の説明を聞きながら、鯨解体場や鯨資料館を巡り、鯨についての理解を深めたようです。なお、特別展『鯨』は9月25日(日)まで開催中です。



鯨資料館所蔵資料



絵画入賞作品43点



安房拓心高校の鯨レシピ

## 和田地区災害対応連携会議が開催されました



災害時における地域住民の安否確認体制を話し合うため、8月10日(水)、和田コミュニティセンター市民ホールにて、和田地区災害対応連携会議が行われました。和田地区の行政連絡協議会、民生委員児童委員協議会、消防団第7支団本部の役員及び市役所職員等が集まり、和田地区の地域防災連携について、それぞれの役割を確認しました。

会議では、防災動画の視聴や、和田地域センター職員による災害時の安否確認の重要性と、地域における住民の安否確認方法の説明がありました。

会議の中で、いざという時に備え、行政区を中心とした『安否確認訓練』を実施することになりました。

11月20日(日)午前9時から、和田区、小川区、中三原区において実施される予定です。



## 安否確認について ～守れる命を地域で守る～

安否確認による被災状況の把握が早期の救助や減災に繋がります。

特に大規模災害発生時は、行政等の公的な支援(公助)が行き届かないことも想定されるため、地域住民の相互支援(共助)により、安否確認を実施することが非常に重要となります。

和田地区内の「守れる命を地域で守る」仕組みづくりにご協力をお願いします。

～平時の備え～

日頃から各自で災害に備えること(自助)も大切です。

日常生活の中で以下の点を今一度ご確認ください。

- (1)複数の連絡手段(電話・SNS・伝言ダイヤル等)を確保している
- (2)水や食料、燃料を確保している
- (3)家具の転倒・落下防止措置をしている
- (4)防災マップ等で危険箇所・避難場所の把握をしている



## 消防団夏季訓練を実施しました



消防団第7支団では火災の被害を減らすため、日々訓練を行っており、8月

28日(日)、支団全体での夏季訓練が行われました。訓練内容は、IP無線に

よる無線訓練、製造業者による車両点検、また各分団の管轄内の水利点検になります。車両点検は、あいにくの天気でしたが、和田コミュニティ運動広場において、車両の製造元であるジーエムいちばら工業の技術者が各分団の消防車両のポンプの状態等を確認し、団員に対してメンテナンス時の注意説明が行なわれました。



柴区にある花の広場公園「花夢花夢」では、コスモスが見頃になってきました。またひまわりの新品種「サンビリーバブル」も元気に咲いています。この品種は小ぶりのひまわりが無数に咲き、上手に育てると1株で1000輪以上の花をつけ、11月頃まで連続して開花するそうです。大輪のひまわりも夏らしくて良いですが、最近はこのように開花期間が長く楽しめる新品種のひまわりも人気のようです。



コスモスとひまわりサンビリーバブル